

パブコメ意見とりまとめシート

No		提出意見原文	意見No		意見概要（意見の内容ごとに分割）
1		現在、未就学の子供が通う小学校として、谷田部小学校の学区区域に住んでいます。その上で、今後谷田部小学校の増設計画があると思いますが、学校へ通うための通学路が約2.5kmと遠方になる予定です。理想は今後新築着工の増加が見込まれる陣場区域にも新設小学校建設を計画に入れてほしいですが、それはなかなか難しいと思います。代案ですが、通学路に関して、付近の田んぼ横の道を通ると非常に距離が短くなり、加えて交通量も高低差も少ないため安全な通路がありますので、そちらを通学路検討していただければ幸いです。ただし、街灯や歩道の整備が必要な場所だと思いますので、将来の都市構想の上で計画入れていただければと思います。よろしくお願いします。	1		谷田部小学校の増築が検討されているが、陣場周辺からは通学路が約2.5kmと遠い。そのため、付近の田んぼ横の道を通学路として検討してほしい。そこは距離が短く、交通量や高低差が少ないため安全である。ただし、街灯や歩道の整備が必要なので、将来の都市計画に含めてほしい。
			2	1	谷田部小学校の教室不足対応として、陣場地区に小学校を新設することも検討してほしい。 ※他の同様の意見と集約した形で意見の概要を作成しています。
2		69ページ、75ページ、76ページの島名小学校と香取台小学校の学区変更の案についての意見を述べさせていただきます。 現状の案ですと、5-4326線の南側の住宅街の方のみ香取台小学校に変更されるかと思います。 現状、住宅街の子供たちは島名小学校に通うため5-4326線から5-4342線を通っているかと思います。現状のままでしたら5-4326線の北側に新築した我が家の子もその通学路かと思いますが、学区変更があると1人でその道を通ることになってしまいます。 かといって西側の家の子達と一緒に島名小学校へ通うとなっても5-4326線または5-4355線を1人で通らなくてはいけません。どちらの道も人気があまりなく、夕方には暗く怖い道になってしまいます。 地区的に入坪にあたると思うので難しいのは承知しておりますが、子供の安全のためにも住宅街の子供たちと登下校を共に出来たらと思います。 また、入坪地区の子供たちは香取台小学校の方が近いと思うので、島名・香取台選択できる地区としていただけたら親子ともに助かるかと思っています。	3		島名小学校と香取台小学校の学区変更案について、現状の案では、5-4326線の南側の住宅街のみが香取台小学校に変更される。 子どもの安全のため、道路の北側の子どもも南側の住宅街の子供たちと一緒に登下校できるようにしてほしい。また入坪地区の子供たちも香取台小学校の方が近いため、島名・香取台の選択が可能な地区としていただきたい。
3		高山中学校について 香取台中学校の新設、あるいは、高山中の学級数を6学級まで(できたら4学級まで)にしていきたいです。 p17のつくば市が考える学校規模には、中学校は学年4から6学級とあります。高山中の将来推計として、p46、その規模をこえる9学級が最大で予測されています。 現在、子どもが香取台小学校に通学しています。子どもは学校に行きづらさを抱えておりますが、学校に行きたい気持ちを強く持っております。現在香取台小は3学級で、担任、チーム担任制、スクールカウンセラー、Sルームなどのサポートを得て、登校できる日も増えました。学校の連携も良いと感じています。この背景には、校長先生、教頭先生の考え方、そして学級数も大きく関係すると強く感じます。 中学校は、小学校入学時と同様で、子供にとっては初めての場所になり、入学してすぐは慣れるまでに、また様々な不安と向き合っていないではなりません。そうした子ども達は我が子だけではないはずです。子どもの登校したい、チャレンジしたいという気持ちを第一に考えていただき、ぜひ学級数の再考、新設等、再度、話し合いをしていただけないでしょうか。どうぞ宜しくお願いします	4	1	人口増加地区であり、住民の要望もある香取台中学校の新設について、再検討してほしい。学校の設置や変更については、地域住民への十分な説明と、議論・合意形成が必要である。 ※他の同様の意見と集約した形で意見の概要を作成しています。
			5		つくば市の考える学校規模では、中学校の学年は4から6学級を標準としているが、高山中学校は将来的に9学級になると予測されている。 現在、香取台小学校に通っており、良いサポートを得ているが、これは先生方の考え方とともに、学級数も大きく関係すると感じている。 学級数の再考や新設について検討してほしい。
4		高山中学校のあり方について。学校等適正配置を拝見したところ、高山中の校舎増築で島名、香取台地区の児童が中学生になったときに対応するとありました。高山中は市内でもかなり老朽化していることもあり、老朽化の校舎と増築の校舎で対応するのはあまり良くないと感じています。香取台地区にも中学校新設の可能性があったため土地をキープしていると思われます。TX沿線の方が栄えており、今後の人口の安定も得られると思うので、香取台地区に新しい高山中学校を建設すると、増築と老朽化の工事を進めるよりも将来的に使いやすいのではないのでしょうか？	6		高山中学校について、現状の校舎の老朽化と新校舎の増築で対応するのは最適ではないと感じている。香取台地区にも中学校新設の土地が確保されており、TX沿線の発展と人口安定を考慮すると、香取台地区に新しい高山中学校を建設する方が、将来的に利用しやすいのではないか。
5		ページ数は高山中学校に関する部分全て つくば市は義務教育学園を整備して行く方針だったはず。市長が変わって、方向性が変わるのはやめて欲しい。 香取台小学校の学区は、TX沿線の万博記念公園駅の開発区域に近いので人口増加が見込まれ、香取台中学校の建設が必須だと考えます。これまでの市の公立学校の需要予測は大変甘く、香取台中学校を高山中学校の校舎増設で賄おうという計画には信憑性が感じられない。義務教育学園整備の順番が島名地区に回ってきたら、やめようというのは合理性がない。だったら、市内の全ての義務教育学園を解体して、もとの小学校、中学校単位のオペレーションに戻すべきではないでしょうか。	4	2	人口増加地区であり、住民の要望もある香取台中学校の新設について、再検討してほしい。学校の設置や変更については、地域住民への十分な説明と、議論・合意形成が必要である。 ※他の同様の意見と集約した形で意見の概要を作成しています。
6		谷田部小学校の教室不足への対応について ・本来であれば、今年度に増築を行う業者を選定していたと思われますが、方針を考え直すとのことで入札が中止になったようです。本校舎の老朽化をふまえて建て替えをするのか、プレハブ校舎の増築のみで対応するのか、ということなのかと推測しております。 ・教室が不足する推定時期は目前に迫っているため、できるだけ早い対応を望みます。 ・将来的なことを考えると、できれば本校舎を新築に建て替えることを検討していただきたいです。 ・ただし、本校舎の新築(建て替え)、プレハブ校舎の増築、いずれにしても、校庭が狭くなってしまったり、騒音の問題など、工事中は児童への多大な影響があるのではないかと思います(谷田部小は、大規模校で生徒数が多いにも関わらず、校庭が狭いと思います)。児童への影響を少なくする案として、陣場地区に小学校を新設することも検討していただきたいです。児童数増加はおそらく陣場地区の子供の数の増加によるものと思われるため、陣場地区に小学校を新設することにより、谷田部小の教室不足も解消されと考えます。 ご検討のほどよろしくお願いいたします。	7		谷田部小学校の教室不足について、教室不足が目前に迫っているため、早急な対応が必要である。できれば本校舎の新築を検討してほしい。ただし、工事による校庭の狭小化や騒音の問題など児童への影響が懸念される。
			2	2	谷田部小学校の教室不足対応として、陣場地区に小学校を新設することも検討してほしい。 ※他の同様の意見と集約した形で意見の概要を作成しています。

No		提出意見原文	意見No		意見概要（意見の内容ごとに分割）
7	8	p.73 吾妻学園の課題「児童数増に対応するため増築等の検討を進める必要がある」とのことですが、小学校の敷地内に増設すると児童の活動スペースが狭くなってしまうため、新たな用地を確保する等で検討してもらいたいです。 また、隣接する吾妻西児童館も特に長期休みには過密になっており、一期時点ではさらなる悪化が予想されます。 新たなマンション建築計画を承認する際には、学校関係も同時に見直した上で、対応してもらいたいです。			吾妻小学校について「児童数増に対応するため増築等の検討を進める必要がある」とあるが、小学校の敷地内に増設すると児童の活動スペースが狭くなってしまうため、新たな用地を確保する等で検討してもらいたい。 また、隣接する吾妻西児童館も特に長期休みには過密になっており、一期(R6～R10)時点ではさらなる悪化が予想される。 新たなマンション建築計画を承認する際には、学校関係も同時に見直した上で、対応してもらいたい。
		1ページの冒頭 インフラストラクチャ とは何ですか？ 解説を入れて下さい。			インフラストラクチャとは何か。解説を入れてほしい。 また、「つくば市が目指す・・・である、」は必要なのか。
		また、「つくば市が目指す・・・である、」は必要ですか？ 特に「つくば市が目指す」は必要ないと思います。			
9	4	つくば市学校等適正配置計画(指針)(案)における香取台中学校の配置案を撤回するよう強く要望いたします。 令和7年1月29日の区画整理審議会において、本指針(案)についての説明がありました。その中で、5年ごとの学区見直しにより島名小学校の生徒数が過大となるため、300人を香取台小学校で受け入れ、校舎増築および学校用地拡張によって対応する方針が示されました。 また、中学校については高山中学校隣接地の県有地(14,000㎡)を購入して対応するため、香取台中学校の配置は廃止するとの説明がなされました。この説明は香取台小学校PTA等にも行われています。しかし、これらの廃止方針に対し、区画整理審議会やPTA等からも反対の意向が示されており、今回、改めて反対の要望とその理由を明記し提出するものです。	3		人口増加地区であり、住民の要望もある香取台中学校の新設について、再検討してほしい。学校の設置や変更については、地域住民への十分な説明と、議論・合意形成が必要である。 ※他の同様の意見と集約した形で意見の概要を作成しています。
9	10	1. 土地区画整理法第55条に基づく適正な手続きの必要性 島名福田坪区画整理事業では、土地利用計画の見直し等は土地区画整理法第55条に基づいて施行されています。令和元年の第6回事業計画変更では、つくば市の要望により、分離していた香取台小学校と香取台中学校の用地を一体化する土地利用計画の変更が行われました。しかし、中学校用地の廃止に関する土地利用計画の変更は行われておらず、中学校の建設を行わないという決定は適正な手続きを経っていません。このまま中学校の廃止施策を進めることは、土地区画整理法第55条に違反する可能性があるため、撤回を求めます。 2. 香取台中学校廃止の理由の不明確性 香取台中学校の廃止理由として、生徒数増加に伴う香取台小学校の増築が挙げられています。しかし、小学校の増築が中学校廃止の理由となる根拠が不明確であり、正当性が欠けています。香取台中学校用地(2.8ha)に加え、公益施設用地(1.1ha)を考慮すれば、小学校の増築に必要な用地(4,000～5,000㎡)は、中学校用地を侵食せずに確保できる可能性があります。この点について、市の説明は十分とは言えず、合理的な再検討が必要です。 3. 香取台中学校用地の広域的意義と市民の合意形成の欠如 香取台中学校用地は広域的な観点からも重要な位置にあります。つくば市は令和7年度にこの用地を購入する予定です(令和7年度予算案では、購入費用として13億7,493万円が計上されています)。しかし、平成13年の事業認可以来、事業主体である県、地権者、区画整理審議会、近隣集落、さらには約8,000人の新規居住者の間で、香取台中学校の廃止を求める声は一切出ていません。現在の香取台中学校用地が最適地であり、これを超える適地は存在しないと考えられます。 以上の点から、香取台中学校の廃止案は、手続き上の問題のみならず、地域のまちづくりの観点からも適切ではありません。市の当初予算(案)土木内訳の4は、香取台中学校用と明記したものでなければならないと考えます。	1	11	島名福田坪区画整理事業に係る事業計画において、中学校用地の廃止に関する土地利用計画の変更は行われておらず、中学校の建設を行わないという決定は適正な手続きを経っていない。このまま中学校の廃止施策を進めることは、土地区画整理法第55条に違反する可能性がある。
9	11	付記 指針(案)の4章「今期学校等適正配置(指針)における基本的な考え方」内の第3項「地域特性やニーズへの配慮及び地域の合意形成」において、「学校配置の適正化を検討する上では、保護者や地域住民等と、教育上の課題やまちづくりも含めた将来的ビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ていくことが最も重要になってきます」と明記されています。しかし、現在の状況を見る限り、以上の内容は実現されておらず、十分な地域合意形成が図られているとは言えません。 教育への情熱を持ち、生徒を大切にする皆様の尽力に深く感謝するとともに、より高い理念に基づいた政策決定がなされることを強く願います。	1		令和7年度当初予算案において、香取台小学校北側の県有地が中学校用地とは別の目的で購入されるように読み取れる。中学校用地として地域住民が認識している土地であり再検討してほしい。 ※他の同様の意見と集約した形で意見の概要を作成しています。

No	提出意見原文	意見No		意見概要（意見の内容ごとに分割）
10	香取台中学校(予定)の記述が無いのでページ無し 1. 学校の配置と街づくりの関係について 学校の配置は地域の街づくりと密接に関係しており、適切な教育環境の整備は住民の生活の質に大きな影響を与えます。特に、子育て世帯にとっては、学校の存在が移住や定住の大きな要因となります。そのため、学校の設置計画や変更に関する情報は、住民に対して透明性を持って提供されるべきです。 2. 香取台中学校(予定)に関する記述の欠如 現在の計画において、香取台中学校(予定)に関する記述が一切見当たらないことはどのような理由でしょうか。将来的に香取台中学校が設置されると理解していましたが、突如無くなり別の施設が建設されるような準備をしていると思えます。その理由や影響を明確に示し、住民の理解を得る必要があります。 3. 令和7年度当初予算(案)に関する懸念 令和7年度当初予算(案)を調査したところ、香取台中学校(予定)のために確保されていた用地が、別の目的で利用される可能性があることが読み取れます。これは、住民に対する説明と異なる内容であり、透明性の観点からも再検討が求められます。 4. 事業計画変更の手続きと住民への影響 区画整理事業の用地確保については、当初の予定から変更される際に事業計画変更が行われていますが、区会がない地域もあるため、住民が気づいたときにはすでに大きな影響を受けるケースが多く見受けられます。特に学校の設置に関する変更は、地域の教育環境に大きな影響を及ぼすため、住民が十分に議論する機会を設ける必要があります。 5. 地域住民の理解と協力の必要性 学校は地域住民の理解と協力があってこそ成り立つものです。しかしながら、香取台中学校(予定)が設置されない可能性があることについて、地域住民の間で活発な議論が行われているとは言えません。住民が十分な情報を得て、意見を反映させる機会を持つことが重要です。 6. 地域住民および香取台小学校の保護者への影響 香取台中学校(予定)が設置されない場合、香取台小学校の保護者や地域住民への影響は非常に大きくなります。児童の通学環境や学校の収容能力など、多くの課題が発生する可能性があるため、十分なディスカッションを行い、地域コミュニティの理解を得た上で慎重に進めるべきです。 【提言】 令和7年度当初予算(案)における用地の変更に関する詳細な説明も含めて、地域住民、香取台小学校の保護者と繰り返し議論を行い、十分な理解と合意を得ること。 以上の点を強く求めます。	4	4	人口増加地区であり、住民の要望もある香取台中学校の新設について、再検討してほしい。学校の設置や変更については、地域住民への十分な説明と、議論・合意形成が必要である。 ※他の同様の意見と集約した形で意見の概要を作成しています。
		11	2	令和7年度当初予算案において、香取台小学校北側の県有地が中学校用地とは別の目的で購入されるように読み取れる。中学校用地として地域住民が認識している土地であり再検討してほしい。 ※他の同様の意見と集約した形で意見の概要を作成しています。
11	1 小中学校の増設について 増設しても、後にそれでも足りないということで更なる増設等に陥らないように、今後予定されている小中学校の増設については、教室数やグラウンド等だいたい余裕を持った形で設計・建設することを強く要望いたします。 2 小中学校の改修について 新設の小中学校の建設や新設の小中学校への通学を希望される方が多くいらっしゃいますが、その大きな理由の一つが、昔からある既存の小中学校が(見た目も含めて)とても古いことにあります。既存の小中学校の改修工事の際には、耐震性のみならず外装(見た目)部分についても行ってほしいです。また、新設校とのハード面での落差が少しでも解消されるために、改修工事の前倒しについてもぜひとも検討していただけたら幸いです。	12		小中学校を増設しても、その後に増設等をする状況に陥らないように、今後予定されている小中学校の増設については、教室数やグラウンド等、余裕を持った形で設計・建設を行ってほしい。
		13		新設の小中学校への通学を希望する人が多いが、その大きな理由の一つが、昔からある既存の小中学校が(見た目も含めて)とても古いことにある。既存の小中学校の改修工事の際には、耐震性のみならず外装(見た目)部分についても行ってほしい。また、新設校とのハード面での落差が少しでも解消されるために、改修工事の前倒しについても検討してほしい。